

## (株)ジェイアール東日本物流

(株)ジェイアール東日本物流では、全事業所を合わせた年間のアイドリング時間が2002年度の約3,000時間から2003年度には約650時間と激減した。アイドリング率(総走行時間に占めるアイドリング時間の割合)に直すと、全事業所平均でわずか0.3%という低さだ。

短期間で大きな成果を上げた裏にはさまざまな努力があった。そのひとつが、ドライバーの走行状況の正確な把握と管理だ。2001年にデジタル式運行記録計を全車両に導入。アイドリング時間、急発進・急加速回数、速度オーバー時間など、データの把握を開始した。「毎月の走行状況の結果は事業所ごとに全ドライバーをA～Eの5段階で評価して発表し、ドライバーの取り組み意欲向上を図っています」と作業管理部の平良栄作課長代理。また休憩時間中のアイドリングをなくすため、充電式の蓄熱マットを導入。停車中に暖房を使わなくてすむような工夫も行ってきた。

エコドライブの推進で急発進などが減った結果、安全性も向上し、事故件数は3年間で38%減った。こうした取り組みが評価され、2003年12月には、グループ会社を含めた12事業所が「安全性優良事業所(国土交通省の委託を受け(株)全日本トラック協会が安全への取り組みなどについて一定の基準を満たした事業者を認定する制度)に認定された。

さらに2004年6月には、「グリーン経営認証制度」の認証も取得した。国土交通省の委託を受け、交通エコロジー・モビリティ財団が環境に配慮した経営を行うトラック事業者を認証する制度だ。「今後は、グリーン経営認証制度のマネジメントシステムに基づいた二酸化炭素排出量や燃料消費量の削減、既に導入を進めている天然ガス車の導入などをさらに進めます」。平良は意欲的にこう話す。

## エコドライブの推進で安全性も向上

総合物流サービスのジェイアール東日本物流では、2001年から車両運行管理システムを導入、エコドライブを推進している。その結果、環境負荷を大幅に削減できただけでなく、事故件数も減少するなど安全性も向上した。



(株)ジェイアール東日本物流  
作業管理部 課長代理  
**平良 栄作**

「5分を超えるからぶかしはアイドリングとみなし、厳しく管理しています」



▶ 毎年1回開催されるエコドライブ研修。  
成果は燃費にダイレクトに表れ、  
研修開始前の2001年度と比較して約23%向上した



▶ デジタル式運行記録計。アイドリング時間など、運行時のデータを詳細に記録



▶ (財)全日本トラック協会から安全運転の表彰を受ける光森良友さん。市川支店のエコドライブ成績最優秀者でもある

▶ 車両の入れ替え時には天然ガス車を積極的に導入。  
2003年度には7台を導入した